

庁議の概要

開催日 平成27年3月26日(木)

◎項目

1 高知県版総合戦略について【産業振興推進部】

◎内容

1 高知県版総合戦略について【産業振興推進部】

産業振興推進部が取りまとめた「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略<平成27年度版>」について、資料を配付の上、概要説明及び協議が行われ、内容が決定された。

<主な協議の概要>

(産業振興推進部：説明)

「まち・ひと・しごと総合戦略」の地方版は平成27年度中の策定とされているが、本県では、県がいち早く策定することで、これからの市町村の策定作業に資することと、28年度の国に向けた政策提言にも生かしていくために、この時期に平成27年度版を策定する。

目指す姿は、産業振興計画の10年後の目指す姿と同じ「地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」を掲げる。

地方創生に向けた本県の基本的な考え方は基本目標を4つとし、「地産外商により安定した雇用を創出する」「新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する」「コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る」としている。

総合戦略の計画期間は27年度から31年度までの5年間としている。

総合戦略の効果的な推進のため、策定に当たっての視点が3つある。川上から川下までの総合的な仕組みを構築していくこと、政策同士、施策間の連携を進め相乗効果を発揮していくこと、成果を重視した目標設定とPDCAによる進捗管理を行うこと。

基本目標と基本的方向、具体的な施策では、基本目標4つを設定している。

策定スケジュールとしては、3月21日開催の産業振興計画のフォローアップ委員会で取りまとめについて了解され、24日に副市町村長会で説明、ご意見をいただき、本日、この場で県としての総合戦略を決定したい。

今後の予定としては、四半期ごとにPDCAにより進捗管理を行い、7~8月には人口の将来展望を加えた改訂版を策定する。

(中山間対策・運輸担当)

市町村の計画の数値目標を積み上げて県の数値目標は一致する形になるのか。

(産業振興推進部)

これから策定する市町村に参考にしていただきたいと、県が策定して示したもの

で、できるだけできあがったものは県と市町村が連携して相乗効果が得られるものにしていきたい。

(商工労働部)

「中山間地域」という用語はよく使うが、「都市部」はどのようなイメージか。

(産業振興推進部)

いわゆる地域の中心部というイメージ。各エリア毎にその中心となる都市機能が一定集約されている地域といった意味合い。

(知事)

「都市部」よりも「中心部」と書いた方が良いかもしれない。コンパクトな中心部と小さな拠点によって支えられた衛星群が連携しているイメージで。

(文化生活部)

市町村の具体的な施策には、今の(産業振興計画)地域アクションプランがちりばめられるイメージか。

(産業振興推進部)

それには限らないが、アクションプランはできるだけ位置付けをしていただくとありがたいとお話をしている。逆に、市町村が作る戦略の中でアクションプランに当たるものが出てきたら、それをアクションプランに位置付けることで効果が上がるのではないかな。

○総合戦略について

(知事)

県版の総合戦略を比較的早い時期に定めていくことには3つの意義がある。

1点目は、もともとの一定の施策群の準備が既にできていたこともあり、それを活かしながら速やかに実行していくようにすること。

2点目は、まず県としてこうしますということをお示しすることで、今後の市長村の策定の踏み台にしていただいて、結果として市町村との連携ができるようにする。

3点目は、今後国において「まち・ひと・しごと創生」のための一連の予算群を当初予算化していくことになるが、本県の実情を国に説明をし、理解していただくために政策提言をしていく基礎となるものとする。

4月1日から鋭意実行していただき、なお一層、部局間の連携協調が必要になるのでよろしく願います。